

そして湾岸戦争終結後、クウェート王室は世界の主要新聞に多国籍軍に対する 1 ページ大の感謝宣言を広告として掲載した。そこにはアメリカをはじめとする多国籍軍に協力した国、30 数カ国の国名が列んだ。しかし日本の名は何処にもなかった。

更に翌日の別な新聞には戦勝国の国名と敗戦国の国名が掲載された。敗戦国はイラク 1 国だが、なんと日本が敗戦国の一員だとした新聞もあった。

我が国は多国籍軍の分担金 130 億ドル（当時のレート約 1 兆数千億円）を特別法まで制定してやっとの思いで抛出し多国籍軍に貢献したと信じていたのに、それが何と無視または敵視されたのだから海部内閣は狼狽した。

湾岸戦争を巡る我が国の迷走振りは次回にします。

